

東芝は憲法を守り社会的責任はたせ

「法令遵守」を宣伝文句に終わらせず

憲法9条守り職場に生かそう



11月26日 キャンプ座間大集会でデモ行進
詳細は日本共産党HP (WWW.jcp.or.jp) 参照

十一月二十六日、神奈川県座間市で開かれた「キャンプ座間への米陸軍第一軍団司令部の移転阻止大集会」には、一万一千人が集まりました。東芝の職場を明るくする会の仲間たちも、上の写真のように集会とキャンプ座間包囲デモに参加しました。

いま、神奈川県、沖縄など各地でアメリカ軍基地強化反対の運動が地域ぐるみで広がっています。「アメリカ軍基地の強化、居座りを許すな」の運動に参加しましょう。

東芝顧問が憲法9条改定を主張

東芝は、年間売上高・六百億円の軍事生産に力をいれ、経団連役員をだすなど財界や政府機関でも大きな力をもっています。西元徹也東芝顧問（元統合幕僚会議議長）は、弾道ミサイル防衛を実現するために「憲法の問題を早急に解決する必要がある」と主張しています。財界主導の「戦争する国への道」にストップをかけましょう。

東芝は小向工場軍事生産部門で発生した爆発・火災の原因と再発防止対策を説明すべきではないでしょうか



本年7月8日午前6時40分頃から小向工場電波試験棟から煙が出始め、7時すぎに地域からの119番通報で、消防車が工場にきた時には手の施しようがない状態で、鎮火したのは翌朝でした。国内最大級6階建てビル規模の電波暗室をもつ電波試験棟では、上の写真のような中距離地对空ミサイル用レーダーなどの開発・製造が行われていました。防衛機密優先ではなく、原因と対策を公表し、被害を受けた従業員と地域に説明すべきです。

東芝は企業の社会的責任を果たせ

10月28日に行われた全労連争議支援総行動で、全労連の代表は『東芝のホームページで西田社長が「企業もコミュニケーションを構成する一員であり、良き企業市民として行動することが当然のルール」、「CSRを経営の重要な柱」「法令の遵守を最優先」「人権、労働、環境の普遍的原則を守る」などと言っているが、実際にやっていることは、まったく違うのではないか』と指摘しました。

いまこそ、東芝は西田社長のコミットメントのとおり、法律を守り、争議を解決し社会的責任を果たすべきです。



10月28日 全労連争議支援総行動（東芝本社前）

労働運動を強める東芝の会

〒212-0024 川崎市幸区塚越2-225 安伸ビル Tel&Fax 044-533-1408

賃金・雇用不安・残業代不払い・労災職業病の相談は
一人でも加入できる電機ユニオンまたは地域労連へ

Tel : 03-3455-6006 Fax : 03-3451-3595